

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> インフラDX <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> 品質 (該当分類に○を付記)		
技術名称	張り出しOKくん	担当部署	土木部
NETIS登録番号	QS-200047-VE	担当者	木下哲治
社名等	旭建設株式会社	電話番号	0982-52-1234
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	本技術は安全管理に関する技術である。移動式クレーンのアウトリガー張出幅が制限される際、点検状況の見える化により吊り荷重と張出幅から決定した正確な幅の確認と現場内の共有が図れることにより、転倒災害防止に寄与する技術である。		
	2. 技術の内容		
	①何について何をする技術なのか？ ・アウトリガーの張出幅を正確かつ明示することにより、吊荷時の転倒を防止する技術。 ・点検完了旗設置により、現場内での安全確認状況が共有可能。		
	②従来はどのような技術で対応していたのか。 従来は張出幅が制限される際、目視確認のみで、下記が懸念された。 ・余裕を持った張出幅とするしかなかった。 ・点検完了の明示ができていなかった。		
	③公共工事のどこに適用できるのか？ ・移動式クレーンを使用する工事全般。		
	3. 技術の効果		
	①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?) ・アウトリガーの張出幅を正確に見える化する。 ・点検完了時に旗を設置することで、点検が完了したことを見える化する。		
	②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?) ・アウトリガーの張出幅と点検が完了したことを見える化することにより、現場内の共有を図り転倒災害を防止する。		
	4. 技術の適用範囲		
①適用可能な範囲 ・移動式クレーンを使用する工事全般 ②特に効果の高い適用範囲 ・アウトリガーの全張出が不可能な作業所。 ・クレーンの移動設置回数が複数回ある作業所。 ・アウトリガーの張出幅が設置場所により変動する作業所。 ③適用できない範囲 ・クローラークレーン。 ④適用にあたり、関係する基準およびその引用元 ・特になし。			
5. 活用実績			
国の機関 11 件 (九州 11件、九州以外 0件) 自治体 5 件 (九州 5件、九州以外 0件) 民間 0 件 (九州 0件、九州以外 0件)			

移動式クレーン用
アウトリガー張出幅確認旗

張り出しOKくん

移動式クレーンの
アウトリガー張出幅が見える！
点検完了の有無が見える！

移動式クレーンアウトリガー張出幅と点検完了を明示することで、現場従事者の意思統一を図りクレーン転倒災害を防止する。



製品明細

【点検完了明示旗＝4組】

- ・ クレーン設置時の点検が完了したことを明示する旗。
- ・ 強力マグネットで着脱可能。



【アウトリガー張出幅明示ロープ＝1組】

- ・ 1本の長さが8m。
- ・ 1m毎に幅明示旗を取付。
- ・ ロープを20cm毎に紅白で色分け。

